

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		レジリエンス・スポーツクラブ				
		公表日 令和8年 3月 31日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	子どもコンディションに合わせて提供できている。	職員が少ないため、配置が足りない時間帯がある。 →個別対応なのでスペースは確保できてますが、職員配置によって部屋数の制限を行う場合があります。職員の募集も引き続き行っております。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	4	ケガの子は 1Fに案内したりしている。	日によってはスタッフが足りない日がある。スタッフ不足を感じる。 駐車場からレッスン室への道が危険、車いすや松葉づえの子は上がりづらいのかな。 体制が厳しい日もあるので知り合いや求人募集をかけて体制を整えたい。 →配置基準を満たした職員数ではありませんが、急遽の休みが出た場合十分な人数にならないことがあります。職員の配置方法については不測の事態に対応できるよう配慮いたします。職員の募集も引き続き行っております。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	掲示物や危険箇所は、バリアフリー化設置できている。 大きいゴミや見えるごみは拾っている エレベーターがなく階段であるが、対象の人は1階にするなどしている。 要望に応じて補強・修正を行っている。	毎レッスン後 モップがけが必要かなと感じる。 →レッスン終了時・開所時に清掃を行っていますが、随時床に落ちているごみは各自拾う自覚が持てるよう指導を徹底していきます。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	換気をしている。 掃除の日に掃除機をかけている。	2Fの緑のマットが髪の毛とかが落ちてると目立って見える。 →レッスン終了時・開所時に清掃を行っていますが、随時床に落ちているごみは各自拾う自覚が持てるよう指導を徹底していきます。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	子どものニーズに合わせて配慮している。 柔軟に対応できている。		
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1	朝礼、終礼で共有している。 上司から詳しい説明があるため会議に参加しやすい。	目標に対する振り返りの時間を持っていない。 基本対応しているが対応出来ない部分もあるのかな。 →勤務時間のほとんどをサービス提供時間(直接支援)として設定しているため、共有時間の確保と限られた時間で共有できる方法を模索しております。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	保護者懇談会が行われ、改善に向けて取り組んでいると思う。 共有して意見を出し合っている。	アルバイトパートまでは伝えられていない気がする。 →常勤職員・パート職員に関わらず情報共有方法を工夫し共有を徹底していきます。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	利用していない。 ワークなどを通じて意見を共有する場がある。	月1のブレイクタイムを設け、スタッフで意見交換場を設定している。 →今後も継続して共有の場を回っていきます。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4	その都度対応できている。	第三者による評価を受けたことがない。 多分していない?分かってません。 →現在、既に第三者委員会を設置しております。ただし、外部評価についてはまだ受けていないため、今後は実現していきます。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	月に一回所内研修を設けている。 所内研修がある。 毎月、開催出来ている。	スタッフのニーズや課題に合わせた研修が増える嬉しいな。 →ニーズを把握しながら研修担当を中心に企画していきます。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	ワークやフィードバックがあってやりやすい。 共有されている。		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	それに合わせたレッスンを考えることができる。		

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		レジリエンス・スポーツクラブ					公表日	令和8年 3月 31日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、「児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1	参加できている。 気軽に共有できる環境が整っている。					
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	teamsにて共有できている。 前回入った職員と話し合ってレッスン内容を定めることがある。					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1		難しい子に対して良いレッスンを提供できない時がある。 →支援方法については、職員のフォロー含め情報共有や支援内容の共有をさらに図っていきます。				
	16	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	それに合わせたレッスンを考えることができる。					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	2	ワークで活用している。	対応が難しい子などの対応方法を職員全員で考える時間を作ってみたいかもしれません。 →支援方法については、職員のフォロー含め情報共有や支援内容の共有をさらに図っていきます。				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	定期的な修正が行われている。	時と場合による。 最近ワークができず、固定化されているように感じる。 →ワーク(ミニ研修)を適宜開催していきます。				
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	レッスンの中で子どもに提案する。					
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	3	朝礼などで確認・共有する時間がある。	小集団や事前に共通認識が必要な場合は行っているがすべてできているかと問われるとできていない。 時と場合による。 必ずではない。できない時もある。 →職員間で新たなプログラム(支援内容等)の立案や支援の質向上に向けたワークや研修を実施しやすいよう、体制を含め調整を行っています。				
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	終礼の際に、共有できている。	小集団や事前に共通認識が必要な場合は行っているがすべてできているかと問われるとできていない。 必ずではない。できない時もある。 →職員間で新たなプログラム(支援内容等)の立案や支援の質向上に向けたワークや研修を実施しやすいよう、体制を含め調整を行っています。				
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	1	終礼などで伝える機会がある。	その日に記録がかけられていない。翌日の空いている時間記入する。				
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1	その都度児発管に聞く。						
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	しっかりと把握している。 また、会議に参加する時にレッスン入った時の様子も聞き取りしてくれている。						
25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		保育、教育関係と連携が取れているか分からない。 分からない。 →管理者や児童発達支援管理責任者を中心に会議へ参加して情報共有しています。今後は会議内容の共有をより充分行っていきます。					
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1		分からない。 →管理者や児童発達支援管理責任者を中心に会議へ参加して情報共有しています。今後は会議内容の共有をより充分行っていきます。					

公表 事業所における自己評価結果

事業所名 レジリエンス・スポーツクラブ

公表日 令和8年 3月 31日

Table with 6 columns: Check Item, Yes, No, Points, Points, Issues/Improvement Points. Rows include items 27-43 covering topics like information sharing, community engagement, and staff training.

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	レジリエンス・スポーツクラブ		公表日 令和8年 3月 31日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5	適切な対応を行っている。もし、難しければ主任や管理責任者に対応してもらおう。	地位交流する機会は作れていない。サッカースクールやバススクールくらいかな。あまり開かれていない。 分からない。 →今後、地域のスポーツクラブとのスポーツ交流ができるように企画調整していきたいと 思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	月に一回所内研修を設けている。マニュアル確認、改善する場ある。	周知しているが、分からない人が多いみたいなので周知方法を考える必要がある。 →管理者や児童発達支援管理責任者を中心に説明を行っています。全職員で同様に説明ができるよう共有を図ります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	月に一回所内研修を設けている。避難訓練がある。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1	適切な対応を行っている。もし、難しければ主任や管理責任者に対応してもらおう。	
	48	食物アレルギーのあることについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	現在の様子シートで確認する。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	月に一回所内研修を設けている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	掲示物で周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	掲示物や危険箇所は、バリアフリー化設置できている。 共有、報告する場を設けている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	月に一回所内研修を設けている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	月に一回所内研修を設けている。		